

P F U テクニカルコミュニケーションズ 株式会社

◎ 事業所概要

企 業 名 : P F U テクニカルコミュニケーションズ 株式会社
代表者氏名 : 代表取締役社長 今福 宏壮
所 在 地 : かほく市宇野気ヌ 98-2
業 種 : 情報通信業
労働者数 : 81 人



◎ 行動計画

- | | |
|--------|---|
| 1 計画期間 | 平成 28 年 9 月 21 日 ~ 平成 30 年 9 月 20 日 |
| 2 取組目標 | <ul style="list-style-type: none">○ 育児休職・子の看護休暇の取得推進<ul style="list-style-type: none">・ 女性社員 育児休職取得率 90%以上を維持する・ 男性社員 子の看護休暇取得者数を 1 名以上とする○ 仕事と育児・看護の両立支援に関する制度運用の更なる充実／一層の利用促進○ 計画的な休暇取得の促進<ul style="list-style-type: none">・ 年間平均 12 日以上を取得を維持する・ 全社員が年間 6 日以上取得する○ 社員会活動を通じた仕事と家庭の両立支援 |

◎ 認定取得に向けた取組状況

・ 社員向けの「パパ子育て講座」や「産休・育児休職者向けセミナー」、石川県が開催する職場復帰セミナーなどへの参加を促し、育休や子の看護休暇を取得しやすい環境づくりを推進した。

その結果、女性社員の育児休業取得率は 100%を達成し、1 名の男性社員が子の看護休暇を取得した。

・ 社員からの要望を踏まえ、在宅勤務制度を拡充するとともに、在宅勤務の利用状況をイントラに掲載し、制度運用を見える化。活用事例をイントラで紹介することで、様々な気付きを発信し、制度の利用促進を図った。

・ 3 か月ごとの年次有給休暇の取得計画を提出させ、計画的な取得の呼びかけを実施。

・ 家族参加型イベントを開催。社員家族のふれあいの機会を提供し、ワーク・ライフ・バランスの意識啓発を行った(クリーンウォーク、バーベキュー、ブドウ狩り&ピザ体験)。

◎ 企業からのひとこと

○ 行動計画に基づく取組に当たって工夫した点

「在宅勤務制度」は、実際に利用してもらい、制度の良し悪しを判断してもらいたいという思いから、導入当初、トップダウンで「全員利用運動」を進め、制度の浸透を図りました。

また、利用者の声を活用事例として紹介し、在宅勤務のメリットや利用するうえで工夫している点などを、利用者の目線で共有し、利用の促進を図りました。

利用者の感想からは、「子供や家族と一緒に過ごす時間が増えた」、「親子の安心感につながった」など、効果的に利用されていることがうかがえ、在宅勤務制度は特別な制度ではなく、働き方の一つの選択肢として日常的に利用されています。

○ 行動計画に基づく取組の効果・課題

育休中の社員へ社内外のセミナーやイベント、お便り等を発信。育児休職からスムーズに職場復帰できるよう支援し、女性社員の育児休業取得率、復職率ともに100%を達成しています。また、両立支援制度の周知により、利用率の向上だけではなく職場の理解も深まり「働きやすい」環境ができつつあると感じています。

更なる両立支援に向けた課題は、「働きやすさ」に加え、復職後の社員や育児中の社員が「やりがい」をもって、いきいきと活躍できる職場環境・風土づくりです。

これに対しては、社員同士の交流はもちろん、身近な先輩社員から、育児と仕事をどう両立してきたかなどの経験談や、アドバイスを聞く機会などを設けることで、仕事への意欲を持ち両立しながら安心して働くことへの一助にしていきたいと考えています。

○ 育児関連休業を取得した男性社員の声

子供の看護では、子供の世話だけではなく家事もする必要があり、とても重労働だと実感しました。そのため、看護休暇を取得して以降は、以前より育児と家事を分担するようになりました。

育児、家事の分担によって自分だけが大変だという感覚がお互いなくなり、ストレスが軽減され、コミュニケーションも増えています。

他の男性社員にもぜひ制度の活用をおすすめしたいです。

(エンジニア・43歳)